

認定権者記載欄（令和6年12月1日適用）		

中小企業信用保険法第2条第5項第5号の規定による認定申請書（イー③）		
令和 年 月 日		
大月市長 小林信保 殿		
(申請者)	所在地（事業所）	
	商号	
	氏名	印
私は、表に記載する業を営んでいるが、下記のとおり、〇〇〇〇（注2）が生じているため、経営の安定に支障が生じておりますので、中小企業信用保険法第2条第5項第5号の規定に基づき認定されるようお願いします。		
(表)		
※表には営んでいる事業が属する業種（日本標準産業分類の細分類番号と細分類業種名）を全て記載（当該業種は全て指定業種であることが必要）。当該業種が複数ある場合には、その中で、最近1年間で最も売上高等が大きい事業が属する業種を左上の太枠に記載。		
記		
1 事業開始年月日	年 月 日	
2 売上高等		
$\frac{B-A}{B} \times 100$		
減少率 %（実績）		
A：申込時点における最近1か月間の売上高等		
（ 年 月 ～ 年 月） 円（注3）		
B：Aの直前3か月間の月平均売上高等		
（ 年 月 ～ 年 月） 円（注3）		
大産 第 号		
申請のとおり、相違ないことを認定します。		
令和 年 月 日		
(注) 信用保証協会への申込期間		
令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで		
(認定者)		
大月市長 小林 信保		

(注1) 本様式は、1つの指定業種に属する事業のみを営んでいる場合、又は営んでいる複数の事業が全て指定業種に属する場合に使用する。

(注2) 「売上高の減少」「販売数量の減少」のどちらかを選択する。

(注3) 企業全体の売上高等を記載。

(留意事項)

① 本様式は、業歴1年3か月未満の場合に使用する。

② 本認定とは別に、金融機関及び信用保証協会による金融上の審査があります。

③ 市町村長から認定を受けた日から30日以内に金融機関又は信用保証協会に対して、保証の申込みを行うことが必要です。

(注) 認定申請にあたっては、営んでいる事業が全て指定業種に属することが疎明できる書類等（例えば、取り扱っている製品・サービス等を疎明できる書類、許認可証など）や、上記の売上高が分かる書類等（例えば、試算表や売上台帳など）の提出が必要になります。